

島根高P連だより

第67号

2024.12.13

発行
編集

島根県高等学校PTA連合会事務局

松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735
E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL:https://shimakp.jp/

高P連
ホームページの
QRコード



出雲高校



理数科シンガポール海外研修(スイス・コテージ高校にて)

浜田水産高校



体育祭



水高祭 食品流通科
実習製品販売



祝 優勝 出雲高校
北部九州総体2024 弓道 女子団体
弓道部 北部九州総体 女子団体 優勝
(学校での祝勝報告会の様子)



日本海南部地区生徒研究発表 優秀賞



神海丸マグロ漁業実習
(ハワイ カメハチハ大王像前)



体育祭での色別応援合戦



コーラス部 全日本合唱コンクール 全国大会 金賞受賞
(さいたま市ソニックシティにて)



1年生遠足(春日の浜)



島根県立隠岐高等学校 創立110周年

創立110周年記念式典

隠岐高校

目次

- 令和6年度高P連研修会
「18歳成年、のための消費者被害からの身の守り方」
松江ちどり法律事務所 弁護士 遠藤 郁哉 氏
- 第73回全国高P連茨城大会
全国高P連会長表彰実践報告 大田高校PTA
- 全国高P連会長表彰実践報告 江津工業高校PTA
第67回中・四国高P連島根大会について
- 第66回中・四国高P連高知大会
- 世界大会出場 会長激励費贈呈 出雲農林高校力又一部
世界大会出場 会長激励費贈呈 島根中央高校力又一部



ジオパーク研究最終発表会優秀賞



体育祭

令和六年度高P連研修会

18歳成年のための消費者被害からの身の守り方

松江ちどり法律事務所 弁護士 遠藤 郁哉氏

令和六年度島根県高等学校PTA連合会研修会は十月十九日(土)に島根県民会館で開催され、十八名の参加があった。島根県消費とくらしの安全室が行っている「プロフェッショナル出前授業」講師派遣事業を利用し、松江ちどり法律事務所 遠藤郁哉弁護士に、「18歳成年のための消費者被害からの身の守り方」というテーマでご講演をいただいた。以下は、研修会の概要である。

一、若者に何がおきているのか？

最初に若者を巡る様々なトラブルの事例が紹介された。

●もうけ話・トラブル

(副業・情報商材やマルチなど)

●美容関連・トラブル(エステや美容医療など)

●定期購入・トラブル(健康食品や化粧品など)

●SNSきっかけ・トラブル

(誇大な広告や知り合った相手からの勧誘など)

●出会い系・トラブル

(出会い系サイトやマッチングアプリなど)

●借金・クレカ・トラブル

若者は様々なトラブルに巻き込まれており、特に、「金」と「美」のトラブルに要注意だと話された。マルチ取引の深刻な事例では、友人に「海外投資のもうけ話を持ちかけられ、「お金がない」と断ろうとしたが、「消費者金融でお金を借りて投資すれば利息以上に儲かる」

「知人に紹介すればさらに紹介料も入る」などと持ちかけられ契約をすることに。だが、最終的には投資の回収は不可能となり、気づけば知人に対しても加害者となった例も発生している。このようなマルチ取引に関するトラブルが一番多い年代は二十代であり、成年年齢引き下げにより、このトラブルに十八・十九歳が巻き込まれる可能性が高く、注意を要する。

二、成年年齢の引き下げ「問題」とは？

未成年は法定代理人(親等)の同意のない契約は取消可能である。成年になればひとりですべての契約ができるが、一方で取消しは難しくなる。今回、成年年齢が引き下げられ、アパートを借りる、スマホを契約する、投資や副業に挑戦する、エステに通ったり美容医療を受ける、借金をしたりローンを組む、など様々な契約を十八歳(契約年齢)でできるようになる。一方で、今までのような「未成年者取消権」を失うことになる。この「未成年者取消権」により「後戻りの橋(後から契約をなかつたこと)にできる」と「防波堤(そもそも悪徳業者からターゲットにされない)」により保護されていた年齢が十八歳に下がることになる。前述の「若者に何がおきているのか」で示した様々なトラブルに遭う年齢が二十歳から十八歳に下がり、「契約できる人」は「誘われる」のだ。

三、「お金」をめぐるトラブル

最近お金を巡るトラブルで多いのが「SNS型投資詐欺」である。有名人をかたったSNS上の二七の広告などを入口に、投資の名目で金をだまし取る詐欺である。今年(二〇二四年)に入ってから急増し、島根県でも本年度九月現在で被害額は約六億円に上っている。ただ、被害者は「あなたが欲を出したからだ。自己責任だ」といわれることを恐れてなかなか言い出せない状況もあり、氷山の一角だと言われている。令和五年に四八%の高い利回りをうたう若者たちから約二百億円を集めた投資会社が警視庁に摘発された事件があった。顧客の若者たちの多くは消費者金融から借りて投資資金に回していた。「お金がない」と断ろうとしたが消費者金融の無人機に連れて行かれ、借金をして投資させられた若者もいた。「お金がない」では断れない。また、「友人を勧誘して入会させると収入を得られる」マルチ商法の被害も多い。①儲かる可能性はゼロ ②勧誘者は消える ③借金だけが残る ④被害者から「加害者」に心をきかす。

四、若者を消費者被害から守るために

- ① 基礎的な知識を正確に身につける。
「契約」「金融」「対処法」の基礎知識を身につける。
- ② 基礎的な対応力
立ち止まる力、断る力、相談する力を身につける。
困ったときは、一人で悩まずに「消費者ホットライン」(800-いやや)に電話で相談する。
- ③ タイムリーな情報を、届くように。
「トラブルに遭わないための力」を十八歳に

る前に身につけることが重要であり、子供たちの巣立ちを安心して見送るために、さらなる消費者教育の充実が必要であると訴えて遠藤弁護士は講演を終えられた。



研修会の様子

講演を聞いた参加者の感想(抜粋)

・子供がトラブルに巻き込まれるきっかけがSNSであることや「欲望」や「劣等感」につけ込まれ、相談しにくいことを利用されて騙される事例があることがわかった。

・若者が置かれている現状をきちんと知り、親が子供と共有することが大事だと思った。愛情がとてよくわかり、かつ恐ろしくなった。知らないことが本当に多く、無知ぶりを痛感した。「断る力」を子供にも伝えていきたいと思いました。

・若者への消費者教育の重要性を認識した。子供自身にも聞いてほしい話だと思いました。

プロフェッショナル出前授業とは

島根県消費とくらしの安全室が行う「外部人材活用講師派遣事業」で、「成年年齢引き下げと若者の消費者トラブル」について専門家(弁護士や司法書士)が県内の学校の生徒・教員・保護者を対象に話をする事業。



プロフェッショナル出前授業HP QRコード

申込み・問合せは

「島根県消費とくらしの安全室」
(電話085522-2251-03)

第73回

全国高等学校PTA連合会大会 茨城大会
「歴史の町で変革を!!」
「新たな時代が目に入らぬか」

今年の全国大会は八月二十一日(木)、二十二日(金)に水戸市のアスタリアみどりアリーナ他五会場で開催された。全国から約五千五百人のPTA関係者が集い、島根県からも二十五校四十七名が参加した。また、オンライン配信も行われ、島根県からは二校が参加した。

大会第一日目は、五つの分科会が行われ、それぞれ講演の後、フリートークやグループトークが行われた。各分科会のテーマは、第一分科会「教育の過去・現在・未来」、第二分科会「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」、第三分科会「新・生きる力と家族の絆」、第四分科会「みんなで考えよう、これからのPTA」、第五分科会「これからの「ミニ」ニースクール」であった。その中で第一分科会では水戸藩の藩校弘道館が文館武館をはじめ医学館・天文台・調練場などが設けられた総合大学的な学問所であり、多難な時局に対応できる人材の育成を目指したことが紹介された。現代の予測することが困難な時代を生きる子どもたちにとってどのような教育がふさわしいのか、絶えず考える必要がある。一方でどんなに社会が変化しようとも、正義、公正や人権を尊重する心を育成する大切さは変わることはない。教育の「不易流行」を考える機会となった。

○全国高P連会長表彰(団体)
・大田高等学校PTA
・江津工業高等学校PTA

その後、記念講演が行われ、講師は第七十二代横綱稀勢の里の二所ノ関寛氏で、演題は「人材育成の不易流行」で自らの経験に基づき指導

理念を熱く語った。概要は次のとおり。

現役引退後、親方として部屋の運営について学ぶため大学院に進学し、スポーツビジネスの三要素である「勝利」「普及」「資金」について研究を行い、「新しい相撲部屋の経営」という論文で最優秀論文賞を受賞した。相撲部屋は四十五あり、そのほとんどが東京にあるが、その論文を元に二所ノ関部屋を茨城県稲敷郡阿見町に作った。そして、四股、すり足や鉄砲など伝統的な練習を重視しながらも、相撲部屋唯一の二面の土俵を作って練習の効率を高める、一日二回の食事を三回に増やし、朝食を摂った後に練習を始める、相撲を取らない休日を作る、弟子の厳しい上下関係をなくすことなど、次々と新しい弟子の育成方法を取り入れていく。愛される力士「怪我に強い力士」さらに「受け身ではなく自分自身で考え抜く力士」を育成することを目標に掲げ、「伝統も大事にしながら新しいものを取り入れる」指導理念に基づき部屋の経営を行っている。最初は弟子四名で始めた二所ノ関部屋も現在十八名となり、二名の関取(大の里と白熊)を輩出し、二昨年の部屋の勝率が一位となるなど、成果が現れ始めている。



開会式

第74回全国高P連大会 三重大会

とき 令和七年八月二十日(木)、二十一日(金)
ところ 津市
内容 出会いはじまる常若のくに
「集い、想い、絆なく三つ」の重なる明日への力

全国高P連会長表彰実践報告
大田高等学校のPTAの取り組み

島根県立大田高等学校 PTA会長

恒松 勝

二〇二四年八月二十三日(金)に開催された第七十三回全国高等学校PTA連合会茨城大会において、一般社団法人全国高等学校PTA連合会の田名部智之会長より、表彰状を頂きました。これまでの島根県立大田高等学校PTA活動が評価されたものと大変嬉しく思います。これまで大田高等学校PTA活動にご尽力された方々にあらためて敬意を表すとともに心より感謝申し上げます。

大田高等学校PTAの委員会は「研修委員会」、「総務委員会」、「教育支援委員会」の三委員会により構成されています。令和五年度の委員会活動を例にして、取り組みについて、ご報告致します。

研修委員会では講演会などの研修を企画します。令和五年度は大正大学地域創生学部教授、*浦崎太郎先生をお招きし、「これから」を生きる子どもたちに「今」大人ができること」と題してご講演を頂きました。子ども達の「学力」や「やる気」を高めなければ世の中から取り残される等の厳しい指摘を受ける講演会でした。子どもはもちろんのこと、親も含め一人ひとりの意識改革が必要であることを学ぶことが出来ました。

総務委員会では大田高校PTA広報誌「泰山木」の第二四号、第二五号を発行致しました。この泰山木は先生方、生徒、保護者の協力

を得て学校行事及びPTA活動の様子を掲載し、大田高等学校PTA会員に活動報告を行っています。通常年二回発行しており、号数からわかる通り歴史のある広報誌です。

教育支援委員会は体育祭でのスポーツドリック仕分け作業、交通立哨、校内ロードレース大会監視員の活動を行いました。年間を通じて学校行事をはじめとする教育活動全般の支援を行うことが出来ました。

今回、これまでの活動を評価して頂き、名譽ある会長表彰を頂いたことを励みとし、今後も活発であり必要とされるPTAを目指し活動してまいります。



PTA研修会の様子



総会の様子

*浦崎太郎先生におかれましては、去る十月二十三日にご逝去されました。生前のご厚情に感謝申し上げます。心より哀悼の意を表します。

全国高P連会長表彰実践報告

島根県立江津工業高等学校のPTAの取り組み

島根県立江津工業高等学校 PTA会長 岩元 理恵

本校PTAは、令和六年八月二十三日に開催された「第七十三回全国高等学校PTA連合大会茨城大会」において「全国高等学校PTA連合会会長表彰」を受彰いたしました。このような素晴らしい賞を受彰できたのは、これまでご尽力いただきました会員の皆さまの活動が認められたものと大変喜んでおります。

本校PTAは会長一名、副会長三名、監事二名、各地区から選出された評議員十七名を中心に活動しています。役員・評議員は、研修部会・生活指導部会・家庭部会にそれぞれ所属し活動しています。

研修部会は、例年十一月に会員の方々を対象とした地域の企業見学を実施し、製品や業務内容等の説明や現場を案内していただくなど、普段は見ることができない「ものづくり」の現場を見学しています。

生活指導部会は、秋の全国交通安全運動期間に合わせて駅前交差点付近で交通安全「あいさつ運動」を行っています。気持ちの良いあいさつを交わすことで元気に日をスタートさせよう、学校正門前でも生徒の登校時間に合わせ朝のあいさつ運動を行っています。

家庭部会は、体育祭で飲食物(焼き鳥、ジュース等)の調理販売を行い、例年多くの生徒や保護者の方々にお買い求めいただき、今年も大盛況となりました。また「制服リユース販売」にも取り組んでおり、卒業される三年生より制服を

提供していただき、新入生に喜ばれています。

本校は今年開校九十周年を迎え、十月十一日には記念式典が行われました。体育祭では、会員の方々の協力のもと、生徒の皆さんと緒に九十年を記念してバルーンリリースを行い、六百個のバルーンが想いを乗せ青空へと放たれました。十月十一日にはしまね海洋館アークアスを会場に記念文化祭が行われ、想い出に残る九十年とすることができました。

このような記念すべき年に受彰という光栄な機会を頂くことができたのも、会員の皆さまのおかげです。また、この度の受彰に際しまして、島根県高等学校PTA連合会をはじめ関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

このように受彰とすべく、今年に受彰という光栄な機会を頂くことができたのも、会員の皆さまのおかげです。また、この度の受彰に際しまして、島根県高等学校PTA連合会をはじめ関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。



交通安全あいさつ運動



体育祭での調理販売



バルーンリリース

令和七年度 第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会について

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会は島根県で開催されます。現在まで総会、評議員会、準備委員会、実行委員会を開催し準備を行って来ましたので、準備状況をお知らせします。

① 期日 令和七年七月十一日(金)

② 会場 くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)

③ 大会テーマ

神話の郷に集う縁

～新時代を生き抜く力を～

作者 森山 恭さん

(令和五年度島根県立出雲高等学校PTA) 神在月に島根に神々が集うように、令和七年の夏に中国のPTAが島根に集結し、A・全盛で便利な反面、混沌とした時代を生き抜くために皆でできることを考える、縁ある大会になつて欲しいと思います。

④ シンボルマーク

制作者 多久田 媛風さん

(島根県立出雲高等学校三年)

八東水臣津野命の国引き神話をモチーフに作成しました。混沌とした時代のような激しい波の中で綱をしっかりと引ている躍動感が出るように配置を工夫しました。また、固く結びれた絆を意味する梅結びを入れました。



⑤ 参加費 五,二〇〇円(弁当代一,二〇〇円を含む)

⑥ 記念講演について

講師 山根 公利氏(メカニクデザイナー) 演題(仮題) 「1-Tから生まれる人の幸せとは何か？」

⑦ 高校生による発表について

① 島根県立出雲農林高等学校和太鼓部
② 松江市立皆美か丘女子高等学校ダンス部
③ 神楽

⑧ 研究協議について

発表県 岡山県、愛媛県、島根県(島根県立隠岐高等学校PTA)

⑨ 令和六年度実行委員会

委員長 高P連会長
顧問 社会教育課長

令和五年度準備委員会委員長
副委員長 高P連副会長
委員 評議員(PTA会長、松江地区高校のPTA会長、校長、島根大会担当教員)

⑩ 今後の準備日程

十一月十四日(土) 第二回島根大会実行委員会(くにびきメッセ)
令和七年二月十五日(土) 第二回評議員会、第三回島根大会実行委員会(くにびきメッセ)

今後の中：四国高P連大会と全国大会の開催予定

○中：四国高P連大会

・第六十七回中：四国高P連大会 島根大会 令和七年七月十一日(金)
・第六十八回中：四国高P連大会 香川大会 令和八年七月

○全国高P連大会

・第七十四回 全国高P連大会 三重大会 令和七年八月二十一日(木)、二十二日(金)
・第七十五回 全国高P連大会 大分大会 令和八年八月

第66回

中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 高知大会

「はばたけ若人よ 郷土の天空へ」

「みんなあゝが願いうぜよー」

七月十二日(金)高知市の高知県立県民文化ホールにおいて第66回中・四国地区高P連大会高知大会が開催された。「はばたけ若人よ 郷土の天空へ」「みんなあゝが願いうぜよー」をテーマに、中・四国各県から約千名、島根県から七十七の会員が集い、熱心な協議が繰り返された。

開会行事では高知県立高知丸の内高等学校の生徒による国歌独唱が行われ、その後、中・四国高P連佐竹会長と全国高P連副会長から開会挨拶があり、続いて来賓の高知県知事と高知市長から祝辞があった。

開会行事の後、ジョンソン語部の垣内守男氏から「夢を叶えるジョンソンズリット」初めて世界を見た日本人 ジョン万次郎」と題して講演があった。概要は次のとおり。

ジョン万次郎(中浜万次郎)は江戸時代末期に土佐藩の漁師の息子として生まれ、十四歳の時に遭難しアメリカの捕鯨船に救助され、アメリカで英語や航海術などを学び、西洋文化に触れた。その後、日本に帰国し西洋の知識や技術を日本に伝えた。明治維新後は、明治政府に仕え、教育や翻訳の仕事に従事し、航海術、測量術、造船技術など西洋の様々な知識を日本に紹介した。また、英語を流暢に操り、日本と西洋の架け橋となり、東京大学の前身となる開成学校の教授を務め、多くの若者に西洋の学問を教え、近代日本の基礎を築いた。

演題の「ジョンソンズリット」とは「あきらめなき」

「投げ出さない」「今やれる事を精一杯考えて行動する」という理念で、漂流という絶望的な状況からアメリカに渡り、異文化の中でたくましく生き抜いたジョン万次郎の生き方に象徴される、どんな困難にも立ち向かう不屈の精神である。彼はこの



講演の様子

スピリットを支えに新しい知識を吸収し、帰国後は日本の近代化に貢献した。彼の生涯は、私たちにどんな状況でも、諦めずに挑戦し続けることの大切さを教えてくれる。

午後からは高校生活動の発表があり、四つの高校が日々の活動を発表した。

まず、高知県立高知丸の内高等学校の音楽科全員による混声合唱があり、会場全体が高校生の美声に魅了された。次に高知県立高知農業高等学校による「農を学び、農で学ぶ」と題して地域の農園との共同研究、高知大学との連携や障がいのある方との共同作業「農福連携」の取組みの発表があった。続いて高知県黒潮町にある高知県立大方高等学校の「誰ひとり取り残さない防災をめざして」「犠牲者ゼロの町で高校生ができること」と題した発表があった。南海トラフ地震発生時には二十四町を超える津波が予想されており、大方高校の生徒が「私たち高校生を頼ってください」と呼びかけ、様々な防災活動や訓練を行っているという発表があった。最後は高知市立高知商業高等学校のラオスでの学校建設活動三十年の軌跡とシビエで森林の豊かさを守る取り組みの発表があった。どの学校も生徒が地域とともに主体的に活動を行っていることがわかる素晴らしい発表であった。その後、研究協議が行われ、以下の高校のPTAによる発表が行われた。

山口県立下関双葉高等学校PTA

「多部制定時制高校のPTA活動」

〇から始めた5年間

平成三十一年に開校した新しい学校で、PTAの組織作り、広報誌の創刊や卒業式に向けて花壇の整備活動について新設校ならではの苦労も含めた報告があり、「できることをできるだけ」を合言葉に「それくらいなら手伝えるか」と保護者に思ってもらえる活動を中心に心がけており、PTA組織の協力について示唆に富む発表であった。

鳥取県立米子東高等学校PTA

「PTA活動と地域に根差した魅力ある学校」への推進事業の取組について

創立百二十五周年を迎えた歴史のある伝統校で、進路人権教育推進・生徒育成・総務の四つの委員会活動について紹介があった。生徒・保護者・教職員の見学交換会を開催したり、「地域に根ざした魅力ある学校作り推進事業」にPTAも関わり、学校図書館開放事業を展開し、平日は十九時まで、休日も十七時まで図書館を開放し、生徒の学習環境の充実に努めているという報告があり、大変参考になった。

高知県立高知国際中学校、高等学校PTA

「高知国際中学校、高等学校のPTA活動」

「はじめの歩」

平成三十年に開校した普通科とグローバル科を持つ中高貫校で国際バカロリア認定校である。各クラスから選出されたホーム委員で構成されるPTA役員が四つの専門部(研修、生活、広報、国際)に分かれ、生徒会ユニセフ支援活動のバザーを行ったり特色のある活動を行っている。六年間の子供の発達に合わせたPTA活動について考えさせられる発表であった。

最後に閉会行事が行われ、来年の舞台島根県に引き継がれ、高知大会は終了した。高知県高P連の皆様のご努力により、見事な大会となった。

閉会行事では、次期開催

県となる島根県の観光PR動画が映し出され、その後、高知県イメージキャラクターのくろしおくんから島根県のあつぱれくんとしてみゆへかっおのバトンが渡され、島根県連の原会長を始め十二名が来年の島根大会への参加を呼びかけて大会の幕を閉じた。



閉会行事の様子



研究協議の様子

島根大会記念講演について

〇演題(仮題)

「17から生まれる人の幸せとは何か？」

〇講師 山根 公利氏のプロフィール

日本のメカニックデザイナー。一九六八年生まれ、島根県川本町出身。一九八〇年代のアニメブームの折、島根県立江津工業高等学校在学中からアニメ誌に投稿した絵が掲載され、卒業を機にアニメの世界で自分の絵のセンスを試そうとアニメ科がある東京の専門学校に入学。新聞奨学生として働きながら二年間通い、アニメーションの基礎を学んだ。卒業時SFアニメの制作に関わるアニメーション企画会社にポートレートを持つて売込みを行い、アニメーションのメカデザイナーの仕事に就く。

メカニックデザイナーを担当した代表作は『天空のエスカフローネ(1996)』『カウボーイビバップ(1998)』、無限のリヴァイアス(1999)、『ガンダムSEED(2002)』シリーズなど。

リアルな描写と独創的なデザインでメカニックデザインに新たな表現を拓いた。現実的な要素を取り入れたデザインは高く評価され、多くのファンを魅了している。特に『カウボーイビバップ』は欧米においても人気を博した作品でその後の世界的アニメブームの一端を支えるヒット作品となり、メカニックデザイナーというジャンルの認知度向上に貢献している。二〇二四年〇月にNETFLIXで初公開となったシリーズ『機動戦士ガンダム 復讐のレクイエム』では国際的スタッフと共にガンダムのデザインを担当した。

二〇〇〇年に地元島根に戻り浜田市に新たに拠点を構え東京と距離を置いた仕事のスタイルを開始。移住地の町内会長も務め島根の風土を探求し自らのデザインスタイルのルーツを模索する。だが、仕事は途切れる事は無くインターネットの普及で画像データのやり取りなどが容易になったことで、現在も日本を代表するメカニックデザイナーとして活躍している。

カヌースプリントジュニア&U23 世界選手権大会出場 会長激励費贈呈

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部
3年 立花 賢太郎さん 飛田 統羽さん 指導者 石原 起人先生

ブルガリアのプロブレイフで開催されたカヌースプリントジュニア&U23世界選手権大会に、日本代表として出場した出雲農林高校カヌー部の立花賢太郎さん、飛田統羽さんと指導者の石原起人先生に七月三十日(水)出雲農林高校校長室で加村光夫高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○結果

男子カナディアンペア(立花・飛田)5000m出場
予選9着(予選敗退)

飛田選手には、左記のようにブルガリア遠征時の手記を書いてもらった。

カヌースプリントジュニア&U23 世界選手権大会に参加して

島根県立出雲農林高等学校
カヌー部 三年 飛田 統羽

私は、7月17日から19日にかけて、ブルガリア・プロブレイフで開催された2024世界カヌースプリントジュニア&U23世界選手権大会に18歳以下の日本代表として、立花賢太郎とともにカナディアンペア5000mに出場しました。

初めての世界大会で強豪国の選手たちと並んで漕ぐことができたのも貴重な経験となりました。しかし、結果は決して満足のいくものではなく、世界の壁の高さを実感しました。

出国前の出雲での練習では手応えを感じていましたが、実際にレースに臨むと、想像以上に過酷な試合となりました。スピードや技術、体力において世界トップ選手との差は歴然であり、自分

たちの未熟さを痛感しました。

また、大会中には予せめぬトラブルもありました。海外での試合では、現地を艇をレンタルすることが多いのですが、当初予定していたものが用意されておらず、別の艇を使ってレースに挑むことになりました。事前の調整を十分できないなか、不安ばかりが募っていきました。しかし、日本代表スタッフの方々の尽力によりレース前日に艇が間に合いました。その瞬間は安心しました。この経験を通じて、予せめぬ事態に対する柔軟な対応力や、どんな状況でも最善を尽くす精神の大切さを学びました。

世界のトップレベルで戦うためには、さらなる努力が必要であることを強く感じました。一方で、困難な状況の中でも最後まで戦い抜けたのは、保護者や地域として多くの方からの温かい応援があったからです。この悔しさをバネにもう一度出雲農林高校で練習し、十月に佐賀県で開催される国スポでは5000mと5000mで優勝したいと思っています。



贈呈式



日本代表旗手を務める飛田選手



レースの様子

カヌースプリントジュニア&U23 世界選手権大会出場 会長激励費贈呈

島根県立島根中央高等学校 カヌー部
3年 兒島 生知さん 河野 賢晃さん 河野 文晃さん 藤倉 萌さん 指導者 堀田 育子先生

ブルガリアのプロブレイフで開催されたカヌースプリントジュニア&U23世界選手権大会に、日本代表として出場した島根中央高校カヌー部3年 兒島生知さん、河野賢晃さん、河野文晃さん、藤倉萌さん、指導者の堀田育子先生に七月八日(月)島根中央高校校長室で名原昌邦高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○結果

男子カヤックフオア(兒島・河野賢・河野文)5000m
B決勝 6位(全体で15位) 1分30秒639

女子カヤックペア(藤倉)5000m
予選8位 1分55秒975

藤倉選手には、左記のようにブルガリア遠征の手記を書いてもらった。

世界カヌースプリント ジュニア選手権大会に出場して

島根県立島根中央高等学校
カヌー部 三年 藤倉 萌

私は七月にブルガリア共和国で行われた2024カヌースプリントジュニア&U23世界選手権大会に出場しました。この大会に出ることが入学時から私の目標でした。私は他校の選手とペアで出場しました。他校の選手とペアに乗ったことがなかったため、初めは漕ぎやキャッチの瞬間のインパクトなどを合わせることに苦戦しましたが、練習を積み重ねるにつれてスムーズに船を進めることができるようになっていきました。5000mのレースでは緊張や不安がありましたがお互いに全力で漕ぎ切ることができました。レースではス

タート前にお互い頑張ろうと声を掛け合いました。そして後半のことは考えず、前半から全力で漕ぎました。練習ではどんなに頑張っても前半2500mと後半の2500mで5秒落ちてしまっていたがレース本番では3秒落ちに留めることができました。そして自己ベストを更新することができました。予選を通過することはできませんでしたが、海外の選手の漕ぎのパワフルさや後半のタイムの落ちの少なさ、船の進め方や体の使い方などを学ぶことができました。海外の選手は背も高く筋肉もついていて今の自分では勝つことができないと実感しました。海外の選手と同等に戦えるようになるには力をつけなければいけないと感じました。この大会はジュニアの最高峰の大会であり、この舞台で戦うことができたことを誇りに思います。

これからも練習に励み、世界の舞台で戦うことができるように頑張りたいと思います。最後になりましたが、たくさんの方の応援や支援をしてくださりありがとうございました。みなさんのおかげで全力でレースに臨むことができました。本当にありがとうございました。

これからの練習に励み、世界の舞台で戦うことができるように頑張りたいと思います。最後になりましたが、たくさんの方の応援や支援をしてくださりありがとうございました。みなさんのおかげで全力でレースに臨むことができました。本当にありがとうございました。



贈呈式



日本チーム



藤倉選手(前)

島根県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

(こども総合保険)

2024年1月現在の内容です。

オンラインでも お申込みいただけます!!

(詳しくはパンフレットをご確認ください。)

部活で
ケガをした!



車のガラスを
割ってしまった!



扶養者が事故に!!



自転車で
他人に
ケガをさせた!



授業中に
メガネを壊した!



選べる4プラン (2024年度版)

年間掛金【一時払】

Xプラン

18,450円

(1年分の掛金)

Gプラン

13,320円

(1年分の掛金)

Bプラン

8,260円

(1年分の掛金)

Cプラン

6,220円

(1年分の掛金)

総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

- 自転車事故でお子さまが加害者になってしまった場合の損害賠償責任も国内無制限補償!
- おケガは補償期間中、1日24時間(学校が休みの日も)補償!
学校部活動中はもとより地域のスポーツクラブでのおケガにも備えられる!
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品(メガネ、制服、タブレット端末等)を補償
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。自転車等一部補償対象外のものがあります。)
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)
※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は、加入者証にてご確認ください。

取扱代理店・扱者

有限会社メイジ

出雲市斐川町直江4888-4
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0120-001-230(通話料無料)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

公益財団法人 島根県育英会



大阪学生会館

大阪府吹田市千里丘中58番10号

施設見学
体験入寮
も可能!

～ 関西に進学するなら 住まいは 大阪学生会館 ～

令和7年度

第二期

入寮生募集!

募集人員

15名程度

あなた
の学びを
応援
します
!

良
さ
・
安
心

令和6年 12月2日(月) ▶ 令和7年 3月31日(月)

- ▶ 島根出身の館長夫妻が在寮しており、病気・地震・風水害等の非常時には心強い
- ▶ 相談できる同郷の仲間や先輩がそばにいる
- ▶ 家具などが備え付けで初期費用が押さえられる
- ▶ 近くに病院・コンビニ・スーパー・ホームセンターがある
- ▶ 京都や兵庫の学校も通学可能なところが沢山ある
- ▶ 静かな住宅地に立地

最寄の千里丘駅から
大阪梅田まで15分の地
で
朝・夕2食付き 月額
5万6千円で生活できる

月額寮費 令和7年度から1万円値下げ! 朝・夕2食付きで

現在の寮費 66,000円/月 → 56,000円/月
物価高騰が進む中、値下げして学生を応援します!

入寮費 12万円または15万円 (最短修学年数による)

応募資格

島根県で生活経験があり、関西の大学・短大・大学院・高専(4年生以上)、専修学校(専門課程)に在学中か令和7年度進学希望者(進学先未決定でも申込可)

願書提出先

在学する高校又は出身高校。大学等の在学者は島根県育英会。

【お問い合わせ先】



公益財団法人 島根県育英会 TEL 0852-28-1981

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター3階 募集案内

交通機関

JR千里丘駅 15分 → JR大阪駅
JR千里丘駅 25分 → JR京都駅
JR千里丘駅 50分 → JR神戸駅
JR千里丘駅下車徒歩15分
阪急摂津市駅下車徒歩20分



通学圏内・
通学実績の
ある学校



事務局だより

高P連研修会で「18歳成年のための消費者被害からの身の守り方」の講演を聴きました。話を聞きながら、子どもだけではなく、大人も危ないと感じました。何年前かに、携帯アプリ利用料金未納のショートメールが入り「今日中に支払えば裁判にならないのでプリペイドカードを買って番号を伝える」という指示がありました。携帯の操作が苦手な私は何かミスをしたと思い「コンビニ」に行きカードを買いました。そこで立ち止まり、携帯会社に相談に行き詐欺だとわかり助かりました。

講演会の内容を娘に話したところ、自分や友達に詐欺に遭いかけた話等が続々出てきました。「私と同じような話で親にお金の相談をして気づいた」、「新型の携帯を0円で貰える」というサイトに入り危うくクレジットカードの情報を入力しそうになった」、「宅配便の不在連絡が来てクレジットカードの情報を入力して不正使用をされた」等です。テレビや新聞、ネットの中での話ではなく、実際に私たちの周りでもたくさん起きていることと知りました。

親に相談した娘の友達の話を聞き、我が子に相談できるかと聞いたら、怒られそうだから無理と笑われました。我が家はまず、親子関係からだと反省しましたが、オレオレ詐欺もあるから気をつけるよう、娘に言われました。大人も子どもも、実際に起こっている詐欺の情報共有し、「立ち止まる力」、「断る力」、「相談する力」を身につける事が大切だと身に染みました。

本年もいろいろなお世話話のりありがいろいろありました。来年をお迎えください。